



① 平らな石を集めた炉跡?



② 石で囲った炉跡



③ いしざら
はっきりと窪みがある石皿



④ 斜面に立てて埋めた土器

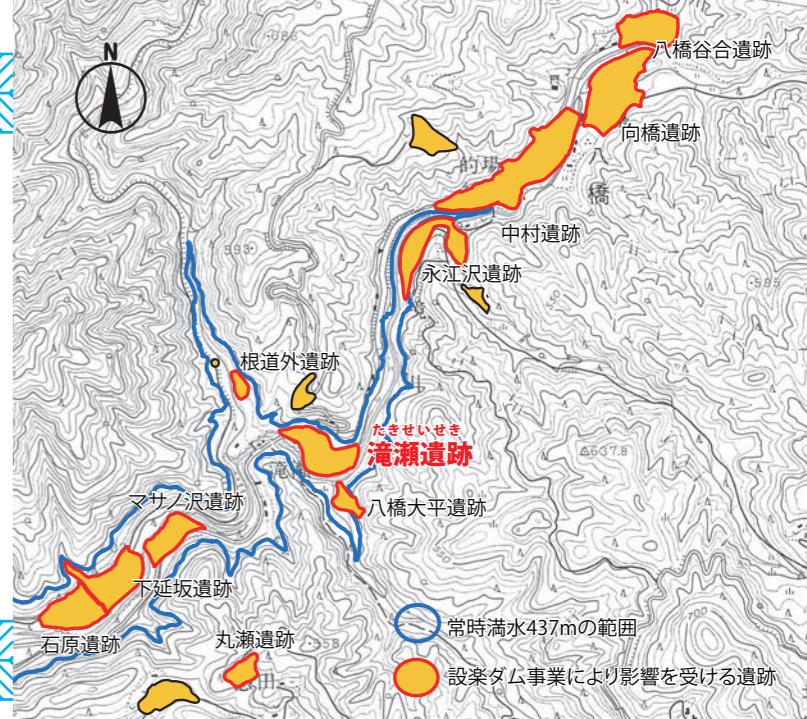
縄文時代の川辺の営み

滝瀬遺跡 (たきせいせき) 18C 区では、縄文時代後期から晩期前半 (約4千年前から3千年前) のさまざまな遺構が見つかっています。境川に面した斜面は、石を並べたり、土器を埋めたり④する営みが繰り返し行われたようです。少し離れた場所では、竪穴建物跡 (たてあなたてものあと) の石囲炉跡 (いしがこいるあと) ②や貯蔵穴 (ちようぞうけつ) ⑤のほかにも、装飾した石刀 (せきとう) ⑥や石皿 (いしざら) ③、赤色の顔料も見つかっていることから、この辺りは祈りを捧げる神聖な場所だったのかもしれません。

さらに、縄文時代早期 (8千年前) と思われる石を集めた炉跡? ①も見つかっています。

斜面に無数に散らばった石の中には、意図的に集めたり、並べたりした部分もあるようです。(配石遺構 (はいせきいどう)、または集石遺構 (しゅうせきいどう))。

たきせいせき
滝瀬遺跡 18C 区



① ② ③ ④ ⑤ ⑥

いなかいどう
江戸時代以降の伊那街道



⑤ 貯蔵用の穴の上面の石



石の下から土器が...



掘り上がった状態



① じゆうせきろあと
石を集めた炉跡がたくさん! (集石炉跡)



④ しきいしたてものあと
床に石を敷いた住まい (敷石建物跡)



⑥ 18C区 (詳しくは裏面に!)

せきとう
子孫繁栄を願って... (石刀)

調査機関 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
HP <http://www.maibun.com/top/>

愛知県埋蔵文化財センター
電話 (0567) 67-4163 【調査課】
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun

調査支援 安西工業株式会社
〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地3丁目3番1号 電話 (078) 967-5530



縄文時代早期前葉以前、9,000年前をさかのぼる 一丘の上のはじまりの“ムラ”が見つかった！

滝瀬遺跡 (たきせいせき) 18B区では、県道から15mも登った丘陵上の南西向き斜面で、合計10基もの竪穴建物跡 (たてあなたてものあと) ①～⑭が見つかりました。竪穴建物跡には重なり合うもの③もあります。建物は40mほどの範囲に広がり、大きさは大きいもので5mほど⑧、小さいものは2m⑩で、多くは3mから4mの大きさです。しかし、これらの竪穴建物跡は、しっかりと掘り込まれたもの①・③もありますが、煮炊きする炉の跡や、しっかりとした屋根を支えるような柱の穴が見つかりません。こうした建物の構造や、竪穴建物跡に残されていた土器、石器の特徴、さらには科学的な年代測定の結果から、竪穴建物跡の年代は、少なくとも、この地域で定住生活が始まって間もない頃、縄文時代早期 (そうき) の初め頃 (約9千年前) よりも古くなる可能性があります。

竪穴建物跡には多くの石器や土器が出土したもの⑧・⑭もあります。土器や石器からは、この頃、土器の装飾には“縄文”④も付けられるようになり、狩猟には槍ではなく弓矢 (石鏃 (せきぞく) ⑤) が用いられ、磨石 (すりいし) や石皿 (いしざら) ⑨・⑪で木の実を盛んに加工するようになったことも分かります。

その他18B区では、焼けた石を集めた縄文時代早期?の集石炉跡 (しゅうせきろあと) ⑬、縄文時代後期 (約4千年前) の土器を敷いた施設⑯なども見つかりました。

